令和７年度　基本評価調書	所管部局	農政部	所管課	食料安全保障推進局、食品政策課、農産振興課、畜産振興課、技術普及課、農地調整課、競馬事業室

施策名	農業生産の振興	施策コード	0602
政策の柱	食	政策体系コード	1(1)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、北海道強靭化計画、知事の基本政策、北海道Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画	事務事業数	98
特定分野別計画	第６期北海道農業・農村振興推進計画、第３期北海道競馬推進プラン		
SDGs		総合判定	順調

予算額（千円）	R5	79,932,977千円	R6	79,070,969千円	R7	98,300,184千円

施策目標	我が国の食料供給地域として食料安全保障の確立に貢献する本道農業の持続的発展に向けて、生産力と競争力を高める取組のほか、野生鳥獣による農作物等の被害防止に向けた取組を総合的に推進する。
現状と課題	（食料等の安定生産体制の強化） 世界的な食料需要の増加や国際情勢の変化など、食をめぐる情勢が大きく変化する中、我が国の食料供給地域として、本道農業への期待が高まっていることから、スマート農業技術の活用促進や輸入依存度の高い農作物の生産拡大など、生産力と競争力を強化する取組を推進する必要がある。 （野生鳥獣による農業被害の防止） 道内の野生鳥獣による農業被害はR5年度は63億円、そのうち51億円がエゾシカによるもので、額はH23年度の70億円をピークに減少傾向で推移していたが、R2年度から増加に転じていることから、野生鳥獣による農業被害の防止に向けた総合的な鳥獣被害防止対策を推進する必要がある。 （ホッカイドウ競馬の安定的な継続） 馬産地に立脚した地方競馬として、馬産地の持続的発展への貢献や全国への競走馬の供給など、馬産地のセーフティネットとしての役割を果たしていることから、安定的に事業を継続していく必要がある。

<主な取組>

今年度の取組	（食料等の安定生産体制の強化） ・消費者や実需者の多様なニーズに対応した競争力のある農産物の計画的、安定的な生産を図るため、基本技術の徹底やICTの活用などによる生産性の向上や省力化、水田のフル活用、適切な輪作体系の確立などを基本に、各品目の生産体制の強化に向けた取組を推進する。 ・スマート農業技術の確実な普及拡大に向け、技術情報の発信や人材の育成、市町村段階での取組体制の構築や導入支援を推進する。 ・適正な農地利用と優良な農地の確保対策を推進する。 ・自給飼料基盤に立脚した安全・安心で良質な生乳の生産やゲノミック評価技術を活用した効率的な乳牛改良の推進、道産肉用牛の生産における早期肥育の導入やブランド力向上に向けた取組支援、飼料生産基盤のフル活用に向けた耕畜連携や道産飼料の生産・利用拡大、飼料流通体制の構築に向けた道産飼料の道外へのモデル的な輸送実証や家畜衛生対策を推進する。 （野生鳥獣による農業被害の防止） ・市町村の被害防止計画の作成を促進するとともに計画的な捕獲・追い払いや農地への侵入防止柵の整備など、地域が取り組む総合的な農業被害防止対策を支援する。 （ホッカイドウ競馬の安定的な継続） ・きゅう舎等の競馬場の基幹施設の整備や重賞競走体系の見直し、本賞金の引き上げと手当の新設、インターネット広報の充実による情報発信の強化を推進する。
実績と成果	（食料等の安定生産体制の強化） ・持続可能な農業確立のため、研修会開催による農業技術の普及や、畑作産地においては病害虫の発生リスクの低減や需要のある作物への転換、労働不足等の課題に対応するため、病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立や労働負担軽減、種馬鈴しょの安定供給の取組を支援。 ・加工向け新品種「そらきらり」の生産技術研修会開催(R7.3)や、北海道産酒米の認知度を図るため、「北海道の酒米を語ろう会2024」を開催(R6.8)するなど、多様なニーズに対応した北海道米の生産拡大と需要拡大に向けた取組を推進。 ・「冬季無加温栽培」で生産される新顔冬野菜の生産と需要の拡大を推進。 ・技術情報やイベント情報などをメルマガで発信（4回）し、スマート農業技術の確実な普及拡大を図った。 （R6年度：ＩＣＴ農作業機実践研修等の人材育成5回　メルマガ発信13回（令和6年8月2日以降）など） ・適正な農地利用と優良な農地の確保に向け、市町村・農業委員会を対象とした研修を実施し、農地転用許可及び農業振興地域制度の周知徹底を図った。（研修：オンラインで2回実施。(R7.6)全道5箇所で実施予定。(R8.2)） ・新規就農者の経営状況を診断・分析する取組への支援を実施。 ・乳牛改良の加速化を推進するため、モデル農家におけるゲノミック評価技術を活用した改良の取組への支援を実施。 ・早期肥育に関する技術向上のための研修会の開催や生産者個別調査を実施。また、ブランド力向上のためPR資材を作成。 ・自給飼料生産優良事例・研究成果発表会や耕畜連携推進セミナーを開催。また、道産飼料の道外移出に向けたモデル的な輸送実証の参加者を公募により選定し、実証を実施。（R7.8月頃道外移出、R8.3月頃成果取りまとめ） ・家畜伝染病の発生予防及びまん延防止対策を推進するため、道内の家畜飼養農場に立入検査を行い、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認・指導を実施。 （野生鳥獣による農業被害の防止） ・鳥獣被害防止総合対策交付金の活用実績・計画は次のとおり R6:わなの購入等（119実施主体）、鳥獣捕獲（144実施主体）、侵入防止柵等の整備（22実施主体）、シカ捕獲（67実施主体） R7：わなの購入等（114実施主体）、鳥獣捕獲（103実施主体）、侵入防止柵等の整備（40実施主体）、シカ捕獲（140実施主体）、クマ捕獲（15実施主体） （ホッカイドウ競馬の安定的な継続） ・競馬場基幹施設整備の着実な実施 ・魅力ある番組づくりのため、本賞金・手当の拡充による出走頭数の確保 ・公式YouTubeチャンネルのリニューアル等による効果的な情報の発信

参考HP①	ホッカイドウ競馬HP	https://www.hokkaidokeiba.net/
参考HP②	スマート農業技術の推進	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/a0007/
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【1(1)A_0602】農業生産の振興

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
食料自給率（カロリーベース）			%	R2年度	R3年度	R4年度	R12年度	99.1%	B （90%以上100%未満）
			目標値	208	214	220	268		
			実績値	217	223	218			

設定理由 *要件(1)(2)*	本道の食料消費が、道内の食料生産によってどのくらい賄われているかを測るもので、農産物の生産拡大等に向け、計画的かつ効率的な生産基盤整備への取組の成果を測る指標として設定。※R4年度目標値は、新たな総合計画の中間目標値の算出方法に準拠し設定		
公表時期	毎年8月頃公表	根拠計画等 *要件(3)*	第6期北海道農業・農村振興推進計画

分析（主な取組と成果）

豊作だった小麦をはじめ、米、てん菜等の収穫量が減少し、前年度より下がったものの、ICT活用による生産性向上や優良農地の確保に向けた取組など生産体制の強化や野生鳥獣による農業被害防止対策を効果的に実施した結果、おおむね目標どおりの実績となった。

成果指標②	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
農業産出額（暦年）			億円	R3年度	R4年度	R5年度	R12年度	115.4%	A （100%以上）
			目標値	11,675	11,675	11,675	13,600		
			実績値	13,108	12,919	13,478			

設定理由 *要件(1)(2)*	農業産出額は、農業により生産された農産物を金額として表わしたもので、地域の基幹産業として成長する姿を示しており、生産力と競争力を高める取組の成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年12月頃公表	根拠計画等 *要件(3)*	第6期北海道農業・農村振興推進計画

分析（主な取組と成果）

R5年度は大豆の価格が下落した一方、米や野菜、生乳などの価格が上昇したことにより前年度から559億円の増となった。
ICT技術の活用などによる生産性の向上や省力化、水田のフル活用、耕畜連携、適切な輪作体系の維持・確立などを基本に、生産体制の強化に向けた取組を推進し目標を達成することができた。

成果指標③	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【1(1)A_0602】農業生産の振興

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） ・米の価格高騰による消費者の購買意欲の低下を防ぎ、北海道米を優先的に選んでもらうため、「北海道米プロモーション」を継続して行っていく必要がある。 ・道内の野生鳥獣による農業被害額はH23年度の72億円をピークに減少傾向で推移していたが、R2年度から増加に転じ、R5年度は63億円となっていることから、引き続き、野生鳥獣による農業被害の防止に向けた総合的な鳥獣被害防止対策を推進する必要がある。 （取組と成果） ・北海道米の消費拡大について、北海道米食率向上戦略会議が中心となり、道内の主要なコンビニ(4社)・スーパー(12社)、北海道米応援サポーター(10社)などと連携して、北海道米100%使用商品のPRや「北海道のお米」の情報発信など、北海道米の食率向上に繋がるプロモーションを実施。 ・環境生活部や水産林務部など関係部局や道総研と会議を開催しエゾシカ・ヒグマなど獣種ごとの対策の実施状況等の情報共有を図るとともに、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、地域の鳥獣被害防止対策協議会や猟銃会などと連携して、効果的に被害防止対策を推進することができた。
緊急性・優先性	（課題） ・近年、世界的な食料需給の増化や国際情勢の変化など様々な理由により、食料の安定供給リスクが高まっており国民生活に直結する食料安全保障が重要な課題となっている。 ・米の価格上昇や政府備蓄米の売渡しなど、米をめぐる情勢が大きく変わる中、国内有数の米産地である本道が、今後とも食料供給地域としての役割を果たしていくためには、北海道米を安定的に生産・供給していくことが重要。 （取組と成果） ・国に対し、食料安全保障の確保に向けた施策や農業の生産力・競争力強化のための生産基盤の維持・強化のほか、農畜産物の生産性向上などへの支援を要望。(R7.5) ・米の安定供給のため、R7年産主食用米の目安を、前年実績から3,354ha増の8万7,054haと設定。(R6.12) ・政府備蓄米の買戻しの動きなどを踏まえ、主食用米(うるち米)でさらに3,000haの追加設定。(R7.4) ・政府備蓄米については、「急激な価格の下落により生産者の所得が減少するなど、経営に影響が生じないよう、適切な運用を図るとともに、主食である米の安定生産が図られるよう、米の生産、流通、備蓄政策全般について必要な検証を行うこと。」と国に対して要望を実施。(R7.5)

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
GNSSガイダンスシステムの累計導入台数	23,200台	24,860台	26,660台

（課題）

労働力不足が続く中、農作業の省力化に向け、ロボットやＡＩ等の先端技術を活用したスマート農業技術の着実な普及拡大が必要である。
※GNSSガイダンスシステム：人工衛星からの位置情報を受信してトラクターの走行位置や走行ラインを画面に表示する機器。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
大規模農業地帯の北海道で、他府県に先行しGNSSガイダンスシステムが導入され、出荷累計台数で全国において高いシェアを維持しており、地域の状況に応じた効果的な導入が進められているものと考えられる。 （出荷台数の約6割が道内向け）	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
	R3年	R4年	R5年
野生鳥獣による農業被害額の農業産出額に対する割合	0.41%	0.45%	0.47%

（課題）

近年、野生鳥獣による農業被害が増加傾向にあることから、総合的な鳥獣被害防止対策を実施し、被害防止を図る必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
道内の野生鳥獣による農業被害額はH23年度の72億円をピークに減少傾向で推移していたが、R2年度から増加に転じ、R5年度は63億円となっていることから、今後も、野生鳥獣による農業被害の防止に向けた総合的な鳥獣被害防止対策を推進する必要がある。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
ホッカイドウ競馬の発売額	52,779百万円	51,281百万円	54,366百万円

（課題）

馬産地に立脚した地方競馬として、馬産地の持続的発展への貢献や全国への競走馬の供給など、馬産地のセーフティネットとしての役割を果たしていることから、安定的に事業を継続していくため、発売額の増加を目指す必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
現在、競馬事業を将来にむけて安定的に運営できる環境を整えるため、老朽化した厩舎等の基幹施設整備を行っており、働きやすく安全・効果的に競馬が実施でき、より多くのファンがこれまで以上に楽しめる競馬場作りを進めているところ。引き続きホッカイドウ競馬の魅力を効果的に発信し、発売額の増加に努める。	a

令和７年度　基本評価調書	【1(1)A_0602】農業生産の振興

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	食料安全保障の強化に貢献する本道農業の持続的発展に向けて、適正な農地利用と優良な農地の確保やスマート農業技術の導入による省力化、輸入依存度が高い小麦、大豆、飼料作物などの生産拡大に向けた取組などを総合的に推進する。
	②	道内の野生鳥獣による農業被害額はR5年度は63億円となり、R4年度に比べ5.2億円増加した。被害額減少に向けては被害防止計画を作成する市町村等で構成する協議会への支援が重要であることから、関係部局と連携し、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、計画的な捕獲活動や農地への侵入防止柵の整備など、地域における被害防止活動を継続して支援していく。
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	本道農業の持続的発展に向けて、適正な農地利用や優良な農地の確保のほか、農作業の効率化・省力化に必要なスマート農業技術の開発や導入促進を進めながら、輸入依存度が高い小麦、大豆などの生産拡大と飼料作物の生産・流通拡大等を図るとともに、共同利用施設の再編集約・合理化、鳥獣害被害防止対策を進めるなど、農業団体等の関係機関と連携し、本道農業の生産力と競争力の強化に向けた各般の施策を総合的に推進していく。
	②	野生鳥獣による農業被害の防止に向けて、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、市町村が作成した被害防止計画に沿って、地域が取り組む捕獲活動や農地への侵入防止柵の整備など、地域における被害防止活動を継続して支援していく。
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	

令和７年度　事務事業評価調書

施策名	農業生産の振興	施策コード	0602

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
０１１９		一般	ＥＰＡ交渉・ＷＴＯ農業交渉等バックアップ事業費	・ＥＰＡ交渉・ＷＴＯ交渉に関する道民・国民の合意形成や理解の浸透を図るため、交渉に関する啓発活動の実施	食料安全保障推進局		387	387	2.6	0.0	2.6	21,642					
０１２０		一般	北海道農業・農村確立連絡会議等	・連絡会議の開催及び国等に対する提案活動の実施	食料安全保障推進局		106	106	1.3	0.0	1.3	10,734					
0318		一般	道産小麦需要拡大促進事業費（需要拡大対策）	輸入に多くを依存している小麦の増産を図り、食料安全保障へ貢献するため、更なる生産性の向上、主力品種「きたほなみ」に代わる新たな品種の導入に向けた取組や、将来の食づくりを担う専門学生等を対象とした理解の醸成を進めることにより、道産小麦の更なる需要を拡大	食品政策課		1,246	1,246	0.5	0.0	0.5	5,334					
0623		一般	鳥獣被害防止総合対策事業費	野生鳥獣による農作物等の被害の防止・軽減を図るため、市町村が作成する被害防止計画に基づき、地域協議会等が主体となって取り組む計画的な捕獲・追い払い、農用地への侵入防止柵の整備などへ支援	食品政策課		2,820,092	360	1.9	2.0	3.9	2,851,975	②	改善（取組分析）			改善
0326	0603	一般	新顔冬野菜推進事業費	冬の寒さにより甘みが増すなど特徴を有する「ちぢみほうれんそう」や高価格での取引が期待される「伏せ込みアスパラガス」などを「新顔冬野菜」として生産と需要の拡大を図るため、産地事例調査や催事販売などの取組を推進	食品政策課		6,742	3,534	0.9	0.0	0.9	14,100					
0401		一般	水田農業元気づくり推進事業費[団体補助金]	・地域水田農業の産地確立に向け、加工用米・備蓄米等の低コスト・安定生産や麦の生産性向上などの技術研修会の開催・情報提供を支援（補助事業）	農産振興課		857	857	1.9	0.0	1.9	16,390					
0402		一般	ごはん食拡大推進事業費	・人口減少等による米消費の減少が見込まれる中、北海道米の道内食率を維持し、業務需要の掘り下げ等による更なる消費拡大運動を展開するとともに、農家戸数が減少する中での生産力維持に向け、直播向け品種の導入や省力化技術等を推進	農産振興課		2,603	2,603	2.3	0.9	3.2	28,763					
0403		一般	多様な北海道米産地づくり事業費	・道産日本酒の国内外での販売拡大に向けて、北海道らしい日本酒を造るための酒米の生産振興や、道産日本酒のブランド力強化に向けた取組を総合的に推進	農産振興課		10,025	10,025	1.0	0.0	1.0	18,200					
0404		一般	米流通対策指導事業費	・「米トレーサビリティ法」及び「食糧法」に基づき、米穀等の取引などに係る情報の記録及び産地情報の伝達並びに米穀出荷・販売事業者が遵守すべき事項の履行の適正化を図るため、米穀取扱業者等への立入検査や事業者への指導、普及啓発等を実施	農産振興課		161	161	1.0	0.7	1.7	14,059					
0405		一般	原種等生産事業費	・北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例に基づき、本道の基幹的作物である主要農作物等の生産性及び品質の向上を図るため、優良種子の生産安定及び安定供給を推進	農産振興課		190	79	1.2	2.0	3.2	26,350					
0406		一般	農産物供給体制確立事業費	・道産農産物の競争力強化を図るため、産地における安全で安心な農産物の安定的な生産供給体制の確立を推進	農産振興課		395	395	2.0	2.8	4.8	39,635					
0407		一般	農産物検査指導監督等推進費	・農産物検査法に基づき、地域登録検査機関の登録事務や立入検査等の指導･監督を行い、農産物検査の適正かつ確実な実施を確保	農産振興課		1,500	1,480	2.1	0.0	2.1	18,668					
0408		一般	産地生産基盤パワーアップ事業費	・農業の国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略として定めた産地パワーアップ計画に基づき、地域が一丸となった産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援	農産振興課	7,882,816	3,818,175	198	1.4	1.0	2.4	3,837,795					
0409		一般	経営所得安定対策等推進事業	・農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、経営所得安定対策等の推進に必要な活動を行うとともに、市町村など地域段階の事業実施主体が行う普及推進活動や要件確認等に必要な経費を助成する。	農産振興課		536,006	0	0.6	1.5	2.1	553,174					
0410		一般	強い農業づくり事業費	・土地利用型作物等の産地収益力の強化及び施設再編による産地合理化の促進に必要な施設整備等を支援するとともに、事業実施前における助言・指導及び実施後における事業評価等に基づく改善指導を実施	農産振興課	2,009,000	1,707,768	1,589	1.8	1.8	3.6	1,737,198					
0411		一般	畑地化促進事業	水田を畑地化して畑作物の需要に応じた生産を促進することを目的として、生産が安定するまでの一定期間、継続的に支援等をする。	農産振興課		3,164,145	0	0.2	0.3	0.5	3,168,233					
0412		一般	豆類安定生産推進対策事業費	・道産豆類の品質を重視した生産技術の確立・推進、計画生産を推進	農産振興課		5,882	0	0.8	1.1	1.9	21,415					

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	農業生産の振興	施策コード	0602

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0413		一般	畑作物生産改善対策費	・馬鈴しょ採種事業の健全な発展及び道内の馬鈴しょ栽培の安定を図るため、種馬鈴しょ生産者及び集荷販売業者の登録など、北海道種馬鈴しょ生産販売取締条例で定める事務を実施	農産振興課		71	0	0.2	0.1	0.3	2,524					
0414		一般	輪作体系維持・確立対策事業費	・基幹的な輪作作物であるてん菜と馬鈴しょの作付面積が減少し輪作体系の崩れがみられることから、本道畑作農業における輪作体系の維持・確立を図るため、当該作付の安定化を推進	農産振興課		370	370	1.3	0.7	2.0	16,720					
0415		一般	道産小麦需要拡大促進事業費（生産対策）	・北海道初、菓子用品種「北見９５号」の普及促進により、道産小麦への置き換えを図るための生産対策や需要拡大対策を推進	農産振興課		1,246	1,246	0.8	0.7	1.5	13,509					
0416		一般	畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業費	畑作産地において、病害虫の発生リスクの低減や需要のある作物への転換、病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立等の取組を支援する。	農産振興課		2,250,000	0	0.9	1.1	2.0	2,266,350					
0417		一般	麦･大豆生産技術向上事業費	・「麦・大豆国産化プラン」に基づき計画的に行う団地化の推進、営農技術の新規導入など、生産性の向上を図る取組を支援	農産振興課		3,873,286	0	1.1	1.1	2.2	3,891,271	①	改善（取組分析）			改善
0419		一般	ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業費	・種馬鈴しょ生産における病株抜き取り作業の負担軽減を図るため、ICTを活用した生産技術の実証に取り組む	農産振興課		35,000	0	0.2	0.1	0.3	37,453					
0420		一般	野菜価格安定資金造成事業費補助金	・主要野菜の安定供給を図ることを目的とし、野菜価格が著しく低落した場合の生産者に対する補給金交付のため、生産者、国、道の負担により資金造成を実施	農産振興課		10,609	10,609	1.2	0.0	1.2	20,419			【事務事業のコスト】 国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。	地方負担が生じないよう、国庫負担で対応するよう令和９年度の国費提案に向け検討を行う。	
0421		一般	次世代施設園芸普及促進事業費	・生産性の高い高度な施設園芸の一大産地化を目指すため、次世代施設園芸北海道拠点において得られた知見等を活用し、生産者への普及啓発活動等を展開	農産振興課		28,421	0	0.5	0.3	0.8	34,961					
0422		一般	多様な野菜産地づくり促進対策事業費	・北海道野菜に対する多様な消費者・実需者ニーズに対応するため、加工・業務用野菜の生産拡大や、新規野菜・特産野菜の産地化推進、野菜の衛生管理対策に取り組むことで、国内トップランナーである北海道野菜のブランド向上と生産を確保	農産振興課		938	938	0.9	0.3	1.2	10,748					
0423		一般	大規模契約栽培産地育成強化事業費	事業実施に係る産地向け制度説明・現地指導の実施。	農産振興課		796	796	0.5	0.1	0.6	5,701					
0424		一般	園芸産地における事業継続強化対策事業費	・自然災害に強い園芸産地を形成するため、非常時の対応能力向上に向けた事業維持計画（ＢＣＰ）の策定や実行に必要な整備・取組を支援	農産振興課		7,712	0	0.2	0.1	0.3	10,165					
0425		一般	道産果樹ブランド力強化総合推進事業費	・道産果樹のブランド力の向上、果樹振興を図るため、果樹の高品質安定生産や消費拡大の対応に加え、省力・低コスト栽培技術の導入や機能性を有する小果樹など新たなニーズ等への対応も推進	農産振興課		860	860	0.6	0.1	0.7	6,583					
0426		一般	ジャパンフラワー強化プロジェクト推進受託事業費	北海道の花き産業の一層の発展のため、北海道花き振興協議会が実施する事業の円滑な推進を図るため、一部取組を同協議会から北海道が受託することにより、道内花き産業の強化を図る。	農産振興課		250	250	0.5	0.1	0.6	5,155					
0428		事務	課内総括事務	・職員の服務・研修、道議会事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び農産経営の企画調整に関する事務	農産振興課				2.8	1.3	4.1	33,518					
0429		事務	農産物の生産振興対策に関する事務	・畑作物・米・園芸作物の生産振興及び流通等に関する事務	農産振興課				4.0	11.0	15.0	122,625					
0501		一般	畜産振興総合対策推進指導事業費	・畜産経営に対する経営技術指導や、鶏卵・肉鶏・豚等生指導	畜産振興課		981	79	1.4	0.0	1.4	12,426					
0503		一般	飼料対策事業費	・飼料製造販売者や畜産農家等に対する立入検査・指導事務	畜産振興課		4,327	374	0.7	2.7	3.4	32,122					
0504		一般	生乳乳製品流通対策推進指導事業費	・生乳生産に係る生産者団体と乳業者との意見調整や生乳の計画生産と適切な生乳取引に係る取組に対して助成	畜産振興課		397	397	1.0	0.0	1.0	8,572					
0505		一般	畜産環境保全推進対策事業費	・家畜排せつ物の適正管理と有効利用の指導助言	畜産振興課		111	111	1.2	3.5	4.7	38,534					

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	農業生産の振興	施策コード	0602

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0506		一般	監視・危機管理体制整備対策事業費	・家畜の混合感染症等による損耗に対する原因究明・衛生指導による生産性向上対策 ・家畜伝染病まん延防止のための防疫演習及び家畜衛生関連情報の収集・共有	畜産振興課		1,073	537	0.4	9.8	10.2	84,458					
0507		一般	地域衛生管理体制整備事業費補助金	・家畜伝染性疾病の発生予防やまん延防止のための地域衛生管理体制整備に対する補助金	畜産振興課		54,380		0.2	0.1	0.3	56,833					
0509		一般	農場リース円滑化事業費	・補助整備事業の補助残に公社の内部資金を充当する際の運用金利相当分を助成	畜産振興課		22	22	0.5	3.9	4.4	35,992					
0510		一般	養蜂指導費	・蜜蜂の適正な入地調整を行い、蜂蜜及び蜜ろうの増産等を推進	畜産振興課		2,027		0.9	1.4	2.3	20,830					
0511		一般	酪農畜産行政推進費	・酪農・畜産の振興・安定的発展のための諸事務に要する経費 地全協関係申請事務、酪肉近計画推進指導事務に関する事務、畜産業振興事業、加工原料乳数量認定、生乳数量の確認、乳業工場立入検査、軽種馬資金事務、リース事業現地指導、家畜商講習会、家畜商、家畜市場に関する事務、家畜人工授精師、授精所、種畜検査に関する事務	畜産振興課		26,583		3.9	8.1	12.0	124,683					
0512		義務費	家畜伝染病予防費［義務］	・伝染病予防のための病性鑑定業務	畜産振興課		2,522,876	177,557	2.0	60.0	62.0	3,029,726					
0513		一般	家畜衛生指導推進費	・家畜自衛防疫組織の育成強化や動物用医薬品等の適正な監督指導事務	畜産振興課		2,324		0.8	9.7	10.5	88,162					
0514		義務費	家畜衛生指導推進費［義務］	・家畜伝染病予防法に基づく検査・注射手数料の徴収を行う市町村に対する事務取扱委託費	畜産振興課		7,954	7,954	0.1	1.5	1.6	21,034					
0515		一般	牛海綿状脳症病性鑑定費	・牛海綿状脳症（ＢＳＥ）に係る全月齢の臨床疑い牛、BSE関連症状を呈する死亡牛の検査を実施	畜産振興課		154,808	37,296	0.8	17.6	18.4	305,228					
0516		一般	運営費(家畜保健衛生所)	・家畜保健衛生所の運営、施設維持等に関する事務	畜産振興課		68,417	15,669	0.4	8.4	8.8	140,357					
0517		一般	施設設備整備費(家畜保健衛生所)	・家畜保健衛生所の施設整備等に関する事務	畜産振興課		15,836	12,936	0.3	5.6	5.9	64,069					
0518		維持費	家畜保健衛生所維持運営費［維持］	・家畜保健衛生所の維持・運営に要する経費（会計年度任用職員の雇用、光熱水費等）	畜産振興課		63,697	10,949	0.4	8.3	8.7	134,820					
0519		維持費	家畜保健衛生所維持運営費［維持］	・家畜保健衛生所の維持・運営に要する経費（会計年度任用職員の雇用、光熱水費等）	畜産振興課		4,710	4,710	0.2	4.1	4.3	39,863					
0520		義務費	ボイラー検査費（家畜保健衛生所）［義務］	・ボイラー等検査に要する経費（義務費）	畜産振興課		10	10	0.0	0.1	0.1	828					
0521		事務	畜産振興課総合調整等業務	・職員の服務・研修、議会事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び畜産経営の企画調整に関する事務	畜産振興課				2.7	0.1	2.8	22,890					
0522		事務	酪農振興に関する事務	・家畜個体識別システム、畜産物価格及び関連対策等に関する事務	畜産振興課				1.9	2.4	4.3	35,153					
0523		事務	肉牛及び中小家畜に関する事務	・種畜・種鶏の譲渡申請等に関する事務	畜産振興課				2.1	1.6	3.7	30,248					
0524		事務	家畜ふん尿、飼料及び馬に関する事務	・家畜排せつ物法、飼料安全法、馬事振興等に関する事務	畜産振興課				1.5	3.8	5.3	43,328					
0525		事務	家畜衛生に関する事務	・家畜伝染病防疫、動物用医薬品の安全対策、獣医師法獣医療法等に関する事務	畜産振興課		2,324		1.1	17.6	18.7	155,197					

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	農業生産の振興	施策コード	0602

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0526		一般	北海道和牛繁殖基盤造成事業費	・道産和牛の競争力強化とブランドの確立に向けて、トップエリート牛群の早期造成を推進	畜産振興課		1,600	1,600	1.2	0.4	1.6	14,680					
0528		一般	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費	・経営の効率化や収益性の向上による生産基盤の強化に必要な家畜飼養管理施設の整備等の支援	畜産振興課		1,978,719	359	2.3	7.1	9.4	2,055,564					
0530		一般	北海道めん羊生産飼養技術向上事業費	・めん羊の繁殖・管理技術の向上を図るため、地域における生産体制強化の取組を支援	畜産振興課		905	905	0.3	0.0	0.3	3,358					
0531		一般	酪農経営体質強化事業	・飼料生産改善事例調査・普及による飼料生産の強化や、省力化機械等の導入による労働負担軽減・生産性向上の効果分析、指標作成、酪農ヘルパー組合の優良事例調査・普及等による経営体質の強化の取組を行う。	畜産振興課		2,645	1,645	2.2	1.5	3.7	32,893					
0533		事務	畜舎特例法推進事業費	・畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律に基づく認定業務及び指導監督業務を行う。	畜産振興課		562		1.3	0.0	1.3	11,190					
0536		一般	経営体質強化に向けた牛群改良加速化事業費	・乳牛改良に資するゲノミック評価技術普及のため、モデル農家を対象とした実証を行う事業	畜産振興課		38,238	38,238	1.5	0.2	1.7	52,136					
0537		一般	飼料生産基盤フル活用事業費	・耕畜連携や道産飼料の生産拡大の取組を推進	畜産振興課		3,765	3,765	0.8	0.5	1.3	14,393	①	改善（取組分析）			統合
0538		一般	北海道肉用牛生産振興事業費	・道産肉用牛の生産における早期肥育の導入やブランド力向上に向けた取組を支援	畜産振興課		7,687	7,687	1.2	0.5	1.7	21,585					
0601		一般	協同農業普及事業推進指導費	・農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う巡回指導、地域ニーズに対応した普及活動等に関する事務	技術普及課		28,415	23,666	3.6	5.4	9.0	101,990					
0602		維持費	専門技術員活動高度化事業費［維持］	・（地独）北海道立総合研究機構農業研究本部及び各農業試験場に駐在する普及指導員の活動に必要な車両などの維持運営を行う事務	技術普及課		12,066	9,866	0.4	0.0	0.4	15,336					
0603		維持費	農業情報システム推進事業費［維持］	・農業改良普及センター等における、全国ネットワークの活用や電話やファックス等の通信料の管理に関する事務	技術普及課		11,290	9,061	0.0	0.7	0.7	17,013					
0604		義務費	研究連携課題解決支援事業費［義務］	・農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う現地での普及指導活動に必要な日額旅費を管理する事務	技術普及課		7,639	343	0.0	0.8	0.8	14,179					
0605		一般	農業改良普及センター管理費	・高度で効率的かつ効果的な普及活動を展開するために必要な農業改良普及センターの機材等整備を行う事務	技術普及課		28,493	28,493	0.2	1.8	2.0	44,843					
0606		維持費	農業改良普及センター維持運営費	・農業改良普及センターを運営するための事務（会計年度任用職員）	技術普及課		41,971	22,403	0.1	1.5	1.6	55,051					
0607		維持費	農業改良普及センター車両維持費	・農業改良普及センターの車両を維持・管理するための事務	技術普及課		74,053	43,187	0.1	2.0	2.1	91,221					
0608	0607	一般	スマート農業総合推進事業費（創生交付金）	スマート農業の推進に関する事務（あたらしい農業技術開発導入支援事業費 、スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業費）	技術普及課		138,861	4,052	0.8	0.2	1.0	147,036	①	改善（取組分析）			拡充
0609		一般	植物防疫推進事業費	・病害虫のまん延防止のため、病害虫の発生予察事業等を実施	技術普及課		22,178	0	0.2	0.7	0.9	29,536					
0610		一般	病害虫防除所運営費	・病害虫防除所の円滑で適正な運営のための事業を実施	技術普及課		4,639	737	0.2	0.4	0.6	9,544					
0611		一般	病害虫防除対策事業費	・移動規制病害虫の再発防止を継続的に監視を行う事業	技術普及課		344	172	0.2	0.5	0.7	6,067					
0612		維持費	病害虫防除所運営費［維持］	・庁舎等の維持管理	技術普及課		1,216	610	0.2	0.4	0.6	6,121					

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	農業生産の振興	施策コード	0602

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
０６１３		一般	ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除対策事業費	・ジャガイモシロシストセンチュウの防除･まん延防止を図るための総合的な対策を行う事務	技術普及課		546,581	0	3.3	1.2	4.5	583,369					
０６１４		一般	農業生産資材安全使用等総合推進事業費	・農薬・肥料の適正な流通及び使用の確保や農作業安全の啓発指導、農業機械の効率的な利用	技術普及課		4,023	606	1.1	2.0	3.1	29,366					
０６１５		一般	ヘプタクロル残留対策事業費補助金	・農業団体によるヘプタクロルの残留分析に対する支援	技術普及課		3,419	0	0.2	0.4	0.6	8,324					
０６１６		事務	協同農業普及事業に関わる内部調整事務	・普及活動に係る庁内、試験研究機関・農業団体等との調整事務	技術普及課				2.1	3.1	5.2	42,510					
０６１７		事務	試験研究に関わる内部調整事務	・試験研究に係る庁内、道総研及び関係機関・団体との調整事務	技術普及課				1.0	1.9	2.9	23,708					
0618	0604	事務	技術普及課総合調整等業務	・職員の服務・研修、道議会事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び企画調整に関する事務	技術普及課				2.7	0.6	3.3	26,978					
０６１９		事務	農業環境対策に係る内部調整事務	・農業環境対策に係る庁内、関係機関・団体との調整事務	技術普及課				0.1	0.0	0.1	818					
０６２０		事務	農業改良普及業務	・農業改良助長法に基づく農業改良普及業務（現地指導等）	技術普及課				0.0	552.6	552.6	4,517,505					
０６２１		一般	農業改良普及センター車両整備費	・農業改良普及センターの車両を整備するための事務	技術普及課		12,321	12,321	0.1	0.0	0.1	13,139					
０６２２		投資的経費B	庁舎増改築費	・農業改良普及センター増改築、移転及び解体	技術普及課		57,137	57,137	0.2	0.0	0.2	58,772					
0801		一般	農業委員会等活動促進助成費	市町村に設置される農業委員会の運営や農地利用調整業務等に対する助成	農地調整課		830,000	0	1.8	6.6	8.4	898,670	①	改善（取組分析）			改善
0802		一般	農地等権利調整指導費	農地法等に基づく各種事務及び農業委員会の指導事務	農地調整課		1,034	34	3.0	5.7	8.7	72,157					
0803		一般	機構集積支援事業費	農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を図るため、農業委員会等が行う農地法等に基づく事務の適正実施や農地の有効利用を図るための経費に対する助成	農地調整課		65,000	0	1.7	2.7	4.4	100,970	①	改善（取組分析）			改善
0804		一般	農業委員会等活動促進助成費［団体補助金］	農業委員会の支援業務を行う機関として「北海道農業委員会ネットワーク機構」の指定をしている北海道農業会議の業務に対する助成	農地調整課		36,298	20,017	1.0	0.0	1.0	44,473					
0805		一般	最適土地利用対策事業費	再生可能な荒廃農地を有効活用するための取組等に対する支援	農地調整課		55,000	0	1.0	0.4	1.4	66,445					
0806		一般	市町村地籍調査事業費	国土調査法に基づく地籍調査事業等に対する指導、助成	農地調整課	52,956	380,002	126,968	5.0	0.0	5.0	420,877					
0808		事務	農地調整課総合調整等業務	農振法等に基づく土地利用調整及び課内の庶務全般	農地調整課		0	0	2.5	4.8	7.3	59,678					
0201		一般	北海道地方競馬特別会計	ホッカイドウ競馬の開催	競馬事業室	0	59,822,145	0	7.0	0.0	7.0	59,879,370					
0202		一般	競馬事業室総合調整業務	課内における管理・監督事務	競馬事業室	0	0	0	1.0	0.0	1.0	8,175					
0430		一般	新基本計画実装・農業構造転換支援事業費	・農業の構造転換の実現に向け、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の集約等を支援	農産振興課	3,702,600	12,854,242	432,980	1.2	1.5	2.7	12,876,315					

令和７年度　事務事業評価調書

施策名	農業生産の振興	施策コード	0602

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0431		一般	北海道産花き利活用促進強化事業費	今後の花き消費を担うこどもを対象に早期に花に触れる機会を創出するため、道内の小中高生から得た意見を反映する取組を実施することで、北海道のみらいを担うこどもたちに北海道産の花に対する関心と理解を深めるとともに、ブランドの強化に繋げ、地域の活性化を図る。	農産振興課		4,000	4,000	0.6	0.5	1.1	12,993					
0432		一般	国産野菜サプライチェーン連携強化緊急対策事業費	周年安定供給体制の構築により国産シェアを奪還するため、国産野菜サプライチェーンの連携強化を図る取組を総合的に支援する。	農産振興課	152,000	0	0	0.2	0.0	0.2	1,635					
0539		一般	道産飼料移出推進事業費	道産飼料の流通体制の構築を図るため、飼料販売業者等によるモデル的な輸送や販売の取組を支援	畜産振興課		5,000	2,600	0.7	0.0	0.7	10,723					
											0.0	0					
											0.0	0					
計						13,799,372	98,300,184	1,160,142	118.0	810.1	928.1						